

褒賞制度について

いばらき腎臓財団理事長かつ茨城人工透析談話会会長である山縣邦弘先生のご高配で第55回茨城人工透析談話会から褒賞制度が導入されました。

褒賞候補は褒賞を希望する演題の中から褒賞選考委員会(いばらき腎臓財団)の6名の委員により、施設名と演者名を伏せた抄録を厳正に審査していただき選定されております。候補者は医師の場合は40歳以下の演者に限定されていますが、コメディカルでは年齢制限を設けておりません。

褒賞候補の演題は談話会当日、大会長と該当座長が抄録と当日の口頭発表に齟齬がないか等を最終確認し、授与が決定されます。結果は、いばらき腎臓財団ホームページに公表されます(「所属・氏名」「演題名」等)。

今回は、臨床工学技士部門3演題、看護師部門2演題の計5演題が褒賞候補に選定されております。

褒賞選考委員会(いばらき腎臓財団)委員

小林 正貴	医療法人 青藍会 大場内科クリニック 院長
湯沢 賢治	国立病院機構水戸医療センター 臨床研究部長
篠田 俊雄	つくば国際大学医療保健学部 医療技術学科 教授
前田 益孝	JAとりで総合医療センター 副院長兼腎臓内科部長
海老原 至	水戸済生会総合病院 副院長兼血液浄化センター長
井上 貴昭	筑波大学附属病院 救急・集中治療部 教授